



安全データシート

Copyright, 2020, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	32-2555-4	版	6.02
発行日	2020/03/02	前発行日	2020/03/01

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

3M(TM) キュービトロン(TM) II クリーンサンディング フックキット(TM) 80+ 120+ 180+ 220+

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有害とは分類されない。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

3. 組成及び成分情報

成分	CAS番号	重量%
紙	データなし	19 - 39
水	7732-18-5	10 - 30
硬化レジン	混合物	11 - 19

ポリエチレングリコールジアクリレート	26570-48-9	1 - 5
ステアリン酸カルシウム	1592-23-0	0 - 2
ホルムアルデヒド	50-00-0	0.15
酸化アルミニウム	1344-28-1	15 - 25
ファイバー	37244-96-5	5 - 15
二酸化チタン	13463-67-7	0.2 - 2

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

応急処置は不要。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

他のセクションの使用上の注意を見る。

環境に対する注意事項

適用しない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

適用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

切削、研磨、加工により発生するダストの吸入を避ける。 損傷した製品は使用中に砕け散り、顔や眼に重傷をもたらすことがある。使用前に亀裂や欠け跡があるかを確認する。損傷がある場合は取り替える。研磨作業を行う場合又は作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。 研磨、切削中に生じる粉塵及びスパークは、体への危害並びに火災の原因となる。 本製品の使用により可燃性粉塵が生じることがある。 本製品から発生する粉塵は、粉塵の濃度、点火源などの存在により爆発を引き起こすことがある。製品表面に粉塵が溜まったまま放置しないようにする。

保管

特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
不溶性アルミニウム、化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA (呼吸性分画) : 1mg/m ³	A4 : ヒト発がん性物質として分類できない
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA (呼吸性ダストとして) (8時間) : 0.5mg/m ³ 、 TWA (総ダストとして) (8時間) : 2mg/m ³	
二酸化チタン	13463-67-7	ACGIH	TWA : 10 mg/m ³	A4 : ヒト発がん性物質として分類できない
二酸化チタン	13463-67-7	JSOH OELs	TWA (8時間) : 0.3 mg/m ³ ; TWA (吸引性ダスト) (8時間) : 1 mg/m ³ ; TWA (トータルダスト) (8時間) : 4 mg/m ³	
ステアリン酸塩類	1592-23-0	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 10 mg/m ³ ; TWA (呼吸性分画) : 3 mg/m ³	A4 : ヒト発がん性物質として分類できない

3M(TM) キュービトロン(TM) II クリーンサンディング フックキット(TM) 80+ 120+ 180+ 220+

ホルムアルデヒド	50-00-0	ACGIH	TWA:0.1 ppm ; STEL:0.3 ppm	A1: ヒトに対する発がん性物質, 皮膚 / 呼吸器感作性物質
ホルムアルデヒド	50-00-0	ISHL	TLV (8時間) : 0.1 ppm	
ホルムアルデヒド	50-00-0	JSOH OELs	TWA (8時間) : 0.12 mg/m ³ (0.1 ppm) ; CEIL : 0.24 mg/m ³ (0.2 ppm)	既知の皮膚感作性物質、呼吸器感作の可能性、2 A:ヒトへの発がん性の可能性

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

サンディング、グラインディング、切削加工の際は、適切な局所排気を準備する。粉塵を作業エリアから除外するために、粉塵発生源の付近に局所廃棄装置を設置する。排気ダクト、集塵機、処理装置など、作業環境へのダスト流入防止システムがあることを確認する。

保護具

眼の保護具

顔と眼の損傷リスクを最小にするために、研磨作業を行う場合又は作業付近にいる場合は、眼及び顔面保護具を常に着用する。ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。

サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

粉塵に接触又は研磨材に接触して起こる皮膚の損傷リスクを最小にするために適切な手袋を着用する。

呼吸用保護具

加工する全材料のばく露濃度を評価する。保護マスクを選択する場合は、研磨される材料を考慮する。過度の吸入ばく露を避けるため、適切な呼吸保護具を選択して使用する。

微粒子用半面形あるいは全面形防じんマスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観

固体

色

紫色

臭い

無臭

臭いの閾値	適用しない。
pH	適用しない。
融点・凝固点	適用しない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない。
引火点	適用しない。
蒸発速度	適用しない。
引火性 (固体、ガス)	区分されない。
燃焼点 (下限)	適用しない。
燃焼点 (上限)	適用しない。
蒸気圧	適用しない。
蒸気密度	適用しない。
密度	適用しない。
比重	適用しない。
溶解度	適用しない。
溶解度 (水以外)	適用しない。
n-オクタノール/水分係数	適用しない。
発火点	適用しない。
分解温度	適用しない。
粘度	適用しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

当社が推奨する使用条件では有害な分解生成物は予想されない。有害な分解生成物は酸化、加熱又は他の物質との反応によって発生することがある。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

機械的な眼刺激：疼痛、発赤、流涙、角膜創傷などの症状。 研磨粒子による粉塵は眼を刺激する。症状は充血、腫れ、痛み、涙、かすみ目など。

皮膚に付着した場合

機械的な皮膚刺激：創傷、発赤、疼痛、かゆみなどの症状。

吸入した場合

研磨粒子による粉じんは呼吸器を刺激する。症状は咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、かすれ声、鼻・喉の痛みなど。

飲み込んだ場合

人体への健康影響は考えられない。

追加情報

本製品を使用する方法に従って通常の条件で使用する場合には、有害な健康影響は発生しないと考えられる。しかしながら、使用方法に従わないで使用又は加工した場合には、製品の性能に影響を及ぼしたり、健康影響や危険性が発生する可能性がある。このSDSは3M製品のみを対象とします。危険有害性の程度を決める場合、完全な評価をするためには、研磨される材料についても考慮する必要があります。本製品は二酸化チタンを含有する。高濃度の二酸化チタンを吸入したラットでは、肺がんが観察されているが、本製品の通常の使用状況では、二酸化チタンの吸入ばく露は予想されない。二酸化チタンを含有する類似製品で行った使用時空気サンプリングでは、二酸化チタンは検出されなかった。したがって、本製品での二酸化チタンによる健康被害は想定されない。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入-粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
フィルター	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
フィルター	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
ポリエチレングリコールジアクリレート	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリエチレングリコールジアクリレート	経口摂取	マウス	LD50 10,304 mg/kg

3M(TM) キュービトロン(TM) II クリーンサンディング フックキット(TM) 80+ 120+ 180+ 220+

二酸化チタン	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
二酸化チタン	吸入-粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
二酸化チタン	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
ホルムアルデヒド	皮膚	ウサギ	LD50 270 mg/kg
ホルムアルデヒド	吸入-ガス (4 時間)	ラット	LC50 470 ppm
ホルムアルデヒド	経口摂取	ラット	LD50 800 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
フィラー	専門家による判断	刺激性なし
ポリエチレングリコールジアクリレート	ウサギ	わずかな刺激
二酸化チタン	ウサギ	刺激性なし
ホルムアルデヒド	公的な分類	腐食性

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
フィラー	専門家による判断	軽度の刺激
ポリエチレングリコールジアクリレート	専門家による判断	中程度の刺激
二酸化チタン	ウサギ	刺激性なし
ホルムアルデヒド	公的な分類	腐食性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ポリエチレングリコールジアクリレート	モルモット	感作性あり
二酸化チタン	ヒト及び動物	区分されない。
ホルムアルデヒド	モルモット	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ホルムアルデヒド	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
二酸化チタン	In vitro	変異原性なし
二酸化チタン	In vivo	変異原性なし
ホルムアルデヒド	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

3M(TM) キュービトロン(TM) II クリーンサンディング フックイット(TM) 80+ 120+ 180+ 220+

ホルムアルデヒド	In vivo	変異原性
----------	---------	------

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	吸入した場合	ラット	発がん性なし
二酸化チタン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
二酸化チタン	吸入した場合	ラット	発がん性
ホルムアルデヒド	特段の規定はない。	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ホルムアルデヒド	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 100 mg/kg	適用しない。
ホルムアルデヒド	吸入した場合	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 10 ppm	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ホルムアルデヒド	吸入した場合	呼吸器系	臓器への影響	ラット	LOAEL 128 ppm	6 時間
ホルムアルデヒド	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酸化アルミニウム	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
酸化アルミニウム	吸入した場合	肺線維症	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
二酸化チタン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
二酸化チタン	吸入した場合	肺線維症	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ホルムアルデヒド	皮膚	呼吸器系	区分されない。	マウス	NOAEL 80 mg/kg/day	60 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 0.3 ppm	28 月
ホルムアルデヒド	吸入した場合	肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 20 ppm	13 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	造血器系	区分されない。	マウス	NOAEL 15 ppm	3 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	神経系	区分されない。	マウス	NOAEL 10 ppm	13 週
ホルムアルデヒド	吸入した場合	内分泌系 免疫システム 筋肉 腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 15 ppm	28 月
ホルムアルデヒド	吸入した場合	消化管	区分されない。	ラット	NOAEL 15 ppm	2 年

3M(TM) キュービトロン(TM) II クリーンサンディング フックイット(TM) 80+ 120+ 180+ 220+

ホルムアルデヒド	吸入した場合	眼 脈管系	区分されない。	ラット	NOAEL 14.3 ppm	2 年
ホルムアルデヒド	吸入した場合	心臓	区分されない。	マウス	NOAEL 14.3 ppm	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	免疫システム	区分されない。	ラット	NOAEL 20 mg/kg/day	4 週
ホルムアルデヒド	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 15 mg/kg/day	24 月
ホルムアルデヒド	経口摂取	神経系	区分されない。	ラット	NOAEL 109 mg/kg/day	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	心臓 内分泌系 造血器系 呼吸器系 脈管系	区分されない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	2 年
ホルムアルデヒド	経口摂取	皮膚 筋肉 眼	区分されない。	ラット	NOAEL 109 mg/kg/day	2 年

吸引性呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
硬化レジン	混合物		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ポリエチレングリコールジ アクリレート	26570-48-9		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
ステアリン酸カルシウム	1592-23-0	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
ステアリン酸カルシウム	1592-23-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l

3M(TM) キュービトロン(TM) II クリーンサンディング フックキット(TM) 80+ 120+ 180+ 220+

ステアリン酸カルシウム	1592-23-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	100 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	魚 (その他)	実験	96 時間	LC50	6.7 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	4.89 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	5.8 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	>=6.4 mg/l
ホルムアルデヒド	50-00-0	メダカ	実験	28 日	NOEC	>=48 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1		実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
フィラー	37244-96-5		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			
二酸化チタン	13463-67-7	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
二酸化チタン	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
硬化レジン	混合物	データ不足			N/A	
ポリエチレングリコールジアクリレート	26570-48-9	データ不足			N/A	
ステアリン酸カルシウム	1592-23-0	実験 生分解性	24 日	二酸化炭素の発生	91 重量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 光分解		光分解半減期 (水中)	1-2 時間 (t1/2)	別法
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	99 重量%	OECD 301A - DOC Die Away 試験
酸化アルミニウム	1344-28-1	データ不足			N/A	
フィラー	37244-96-5	データ不足			N/A	
二酸化チタン	13463-67-7	データ不足			N/A	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
硬化レジン	混合物	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ポリエチレングリコールジアクリレート	26570-48-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ステアリン酸カルシウム	1592-23-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ホルムアルデヒド	50-00-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	0.35	別法
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

3M(TM) キュービトロン(TM) II クリーンサンディング フックキット(TM) 80+ 120+ 180+ 220+

フィルター	37244-96-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
二酸化チタン	13463-67-7	実験 BCF-Carp	42 日	生物濃縮係数	9.6	別法

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

船舶安全法、航空法の危険物に該当しない。 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

主な法規制物質

成分	法規名	法規名	法規名
	安衛法 (表示・通知)	化管法	毒劇法
酸化アルミニウム	189 (酸化アルミニウム)	該当なし。	該当なし。
ホルムアルデヒド	548 (ホルムアルデヒド)	該当なし。	該当なし。
二酸化チタン	191 (酸化チタン(IV))	該当なし。	該当なし。

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質 (表示物質)

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

化管法：特定第 1 種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション 8：作業環境許容値 情報修正。

セクション 3：成分表 情報修正。

セクション 1：製品名 情報修正。

セクション 15：法規名 - 表 情報修正。

セクション 15：適用法規のステートメント 情報修正。

セクション 12：成分生態毒性情報 情報修正。

セクション 12：残留性および分解性の情報 情報修正。

- セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 1.1 : 呼吸器感作性の表 情報の追加.
- セクション 1.1 : 呼吸感作性のテキスト 情報の削除.
- セクション 1.1 : 急性毒性の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報の追加.
- セクション 1.1 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 特定標的臓器毒性 - 単回ばく露のテキスト 情報の削除.
- セクション 1.1 : 生殖毒性の表 情報の追加.
- セクション 1.1 : 生殖発生影響のテキスト 情報の追加.
- セクション 1.1 : 生殖胞変異原性の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 発がん性の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.

免責事項：この安全データシートへの情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3M ジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。